



## 女性職員活躍事例 第4回

広島管内で活躍されている女性職員の皆さんにお話を伺いましたので御紹介します。

今回は・ **広島少年鑑別所 専門官** です。



### 専門官の経歴

採用 貴船原少女苑  
その後の勤務歴  
貴船原少女苑 専門官  
松江少年鑑別所 専門官  
丸亀少女の家 専門官  
現職

### Q1 現在の業務内容について教えてください。

広島少年鑑別所の企画調整業務です。収容者のデータ管理や少年簿の編成、職員の勤務配置作成、護身術訓練に関する業務などを担当しています。

### Q2 どのような職業をされていましたか。現在の仕事をする上で役に立っている経験等があれば教えてください。

法務教官になる前は、レストランのウエイтрレスや披露宴会場の接客、コンビニ店員など接客関係のアルバイトをしていました。その経験は、少年院で販売士検定受験に向けて授業をする際に、具体的に例示して説明ができるなど、とても役に立ったと思います。他にも、職業ではないのですが、学生時代に水泳やバレーボール、剣道などを経験し、そのときはどれも上達せず失敗体験として記憶に残っていたものが、体育指導の中で活かすことができ、いろいろなことを経験しておいてよかったと感じました。

### Q3 この仕事に就くきっかけについて教えてください。

大学で心理学を学んでいたため、人を相手にする仕事がしたいと思っていました。また、家庭環境で悩んでいる子どもの手助けがしたいという思いもありました。

### Q4 これまでこの仕事を続ける中で、特にうれしかったことや達成感を感じたことはありましたか。

私は女子少年院での勤務が長かったので、担任をしていた少年が、出院後、自分の目標を持って生活しているという知らせを聞くとうれしかったです。また、少年院では運動会など施設全体で実施する行事があったので、少年と一緒に準備をして、練習を重ねて、皆が笑顔で行事を終えることができたとき、大きな達成感を感じていました。

### Q5 反対に、困難なことや問題はありましたか。また、それをどのように乗り越えてきましたか。

女子少年は不遇な環境で育ってきた子が多く、職員になかなか心を開かないで殻に閉じこもったり、反発や問題行動で気持ちをぶつけてきたりすることも多かったため、その度に、少年の言葉に傷ついたり、自分の未熟さや無力さを感じて辛くなりました。温かく見守ってくれる先輩や頑張っている同期の存在が支えになりました。それに何より、少年が少年院生活の最後には感謝の気持ちを伝えてくれたことが、大きな力になりました。

### Q6 仕事をする上で、心掛けていることはありますか。

少年の処遇は、チームで取り組むので、他の職員もやりやすいように、と常に考えながら仕事をするようにしています。情報を共有して、自分だけの判断で行動しないようにしています。また、公平であることも常に心がけています。いじめや理不尽な扱いを受けてきた少年も多く、職員との関係を通して、人と信頼関係を築いていけるように願っています。

### Q7 業務を進める上で、相談できる職員はいらっしゃいますか。

働き始めたときの自分を知ってくれている先輩や同期は、今でも信頼できる相談相手です。現在の職場にも、困ったときにそっと声をかけてくれる同僚がいます。

そして、少年には施設を出た後の生活につながるように助言、指導をするようにしています。施設内で上手くやれることよりも、社会生活の中で、ルールを守り、周囲の人と安定した関係を築けるようになることを目指し、少年とかかわるようにしています。

また、恥ずかしい話ですが、私は朝が苦手なため、採用されてすぐは下を向いて、無言で出勤することが多くありました。朝一番に挨拶をする、声を掛けられたら手を止めて話を聞く、など当たり前のマナーを心掛けるようにもしています。

## Q8 これまでのキャリアを振り返られて、いかがでしょうか。

女子少年院での寮担任業務は、常に悩みながら迷いながら行ってきました。私はどうしてこんなに不器用なのだろうと自己嫌悪に陥ることも多かったですが、一緒に悩みながら取り組む仲間がいて、目の前で少しずつ変わっていく少年の姿を見ることで、こまごまで続けることができました。女子少年院では、他にも企画、調査支援、医務の係を担当することもありました。寮担任業務とは違い、少年とは少し距離をとり接することができるので、仕事に対して何に重点を置くべきか、どこは割り切ってよいところなのかが見えるようになったと思います。現在は、少年鑑別所で企画係を担当していますが、少年院では扱うことのなかった書類や用語に触れるため、また新たな学びとなっています。

## Q11 どのような職員に、この世界に入ってきてもらいたいですか。

私は、様々な価値観、経験を持った人がいるから、多様な少年に対応することができると思っています。問題を抱えた少年と一緒に悩んでいこうと思うやる気のある人とぜひ一緒に働きたいです。

## Q9 仕事のやりがいについて教えてください。

非行という形で自分の抱えた問題を表出していた少年の理解者となれること、人生の大きな転換点となる重要な時間を一緒に過ごすことができることがやりがいだと思います。

## Q10 女性が仕事を続ける上で、何が大切だと思われますか。

私は独身なので、女性であることに関係なく、生活するために仕事を続ける必要がありました。周りにいる女性職員の方々は子育てとの両立でとても苦労されているなと感じます。仕事と家庭を両立するためには、どこかで線引きをして割り切ることが必要だと思いますし、家族や職場の仲間に協力を求められるように関係を作っていくことが大切なのだろうと思います。

また、男性と女性では仕事に対する姿勢や人のかかわり方が違うのかなという印象を受けます。女性だからこうあるべきとらわれるのは違いますが、女性であるから気付けることもあると、自分なりの見方を大切にしていくことも、男性職員の多い職場の中で仕事を続けていく上では必要ではないかと思っています。